

平成26年度 第2回朝日地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成26年8月26日（火）13:30～14:47
2. 開催場所 朝日支所 2階 第1会議室
3. 出席委員 本間金廣、忠隆司、菅井一志、本間太一、太田厚生、中山好栄
大滝重秋、秦志のぶ、斎藤祐基、遠山恵美
4. 欠席委員 高橋義明、鈴木信之
5. 出席職員 本間支所長、
(事務局) 地域振興課：岩沢室長、五十嵐副参事、中山係長、島田主査
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

平成 26 年度 第 2 回 朝日地区地域審議会 会議次第

日 時 平成 26 年 8 月 26 日 (火)

午後 1 時 30 分～

場 所 朝日支所 2 階 第 1 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 朝日地区地域活性化推進事業について

4 その他

5 閉 会

会議経過

1 開会 (13:30)

事務局； 定刻となりましたので、ただ今から平成26年度第2回朝日地区地域審議会を開会いたします。本日、高橋委員、鈴木委員から欠席の連絡を受けております。

2 あいさつ

会長； たいへんご苦勞様です。第2回朝日地区地域審議会ということで、先般7月に今日の議題にあります地域活性化推進事業について、みなさんにアンケートを提出していただきました。今日はそれらを含めまして来年度の予算要求に向け事業内容について決定させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3 議事

(1) 朝日地区地域活性化推進事業について

事務局； 資料に沿って説明します。

【朝日地区地域活性化推進事業について説明】

会長； ただ今、資料について説明がありましたが、今日はどこまでどのように進めるのか事務局の考えを教えてください。14のアンケート結果からいいところ採りして決めるのか。

事務局； 前回、実行委員会を立ち上げ、そこで内容を検討したほうがいいのではないかという意見がありましたが、まずは実行委員会に任せるのか決定していただきたいと思っております。

会長； この地域審議会のメンバーで決めるよりアンケートにもあるように若い方に計画してもらったほうがいいと思いますが、みなさんいかがですか。

委員； 頭の柔らかい方に多く参加してもらえば実行可能な具体的な事業が出てくるのではないかと思います。

委員； 朝日地区の未婚の男性はちょっと奥ゆかしすぎると思います。そこで提案したいのは、予算も絡むものと思いますがこういうイベントに長けている方を講師にして、女性に対する接し方など2、3回教室的なものを開催してから実施した方がいいと思います。今まで聞いた話では女性の参加費が半額などの特典が理由にあるとも思いますが、女性は積極的に参加してもらえ、男性は自分から進んで参加するような積極性に欠けていると聞いていますので、地域審議会でアドバイスをしながら、あるいはお金がかかるのであれば、予算も50万円と決まっていますが、それ以外にも予算要求をして成功に導くよう努力するべきだと思います。

会長； 神林商工会で行った婚活イベントでは、事前に男性に対するおしゃれとフィジカルのセミナーを行い婚活とありますが、今委員が言われたものに含まれると思います。

事務局； 今回のアンケートでも婚活ではなく趣味が一致するもの、楽しいイベントの

ほうが、人は集まりやすく交流しやすいという意見が多数あったと思います。応募にあたり婚活を前面に出さず、男性女性とも話しやすい雰囲気を作ることが大切だという意見が多く、結婚を前提にした会となると参加者が少なくなるのではないかと危惧した意見がありますので、そこをどのようにするのか。また実行委員会で検討することになれば、実行委員会をいつどのようにするのか。実行委員会で何でも自由に好きなようにしてもいいとなっても行政的に難しい部分もあると思いますので、事業の方向性や開催時期、またみなさんが考えている対象年齢など意見をいただければ、ある程度の方向性をもって実行委員会を立ち上げられると思いますし、この地域審議会から実行委員会をサポートする数名の委員の方が参加していただければ、実行委員会の意見も反映されやすくなるものと思いますのでご検討をお願いいたします。

会 長； 今の事務局からの提案に地域審議会の意見が合わされて議事録に残ればいいと思いますし、また実行委員会組織の構成ですが、アンケートにもあったように愛ランドあさひや高根フロンティアクラブなど慣れているところに入ってもらいと議論が早いと思います。都岐沙羅パートナーズセンターでも協力ができると思います。この審議会委員12名の方にも意見をいただきましたし、愛ランドあさひ、高根フロンティアクラブ、都岐沙羅パートナーズセンターなどにこれまでの意見をふまえてアイデア出しをしてもらってはいかがでしょうか。

委 員； 実行委員会を組織してやることはいいと思います。では実行委員をどうやって選ぶのかということになると思いますが、今ほど会長から具体的な団体を挙げられましたが、私もその3団体がいいなと思います。私も勉強不足で分からないのですが、興味を示してくれるようなイベントで、実行委員になっていたく方は未婚であれば一番いいでしょうし、実行委員の選出を考えなければならぬと思います。

事 務 局； 実行委員会での実施については、委員のみなさんは賛成のようですので、実行委員はどのような人にするのか。年齢層はどうするのか、男性は朝日地区また男女とも朝日地区にするかなど意見をいただきたいと思います。

会 長； 参加対象者をこの審議会で決めて実行委員会に引継ぐのか、または実行委員会で参加対象者を決めていただく方法があると思いますが、私は実行委員会で決めてもらったほうがいいと思います。私の考えでは、実行委員会で例えばこういうイベントだったら対象はこうなる、このイベントであれば対象はこうだという計画を作ってもらおうというものです。

委 員； 先ほど意見がありましたように、婚活と冠をつけると厳しいものがあるとのことです。仲間作りを冠にしたいということになればイベントの内容も変わってくると思います。審議会としては、仲間づくりではなく1人でも多く朝日の住人にしたいというのが主眼にあると思いますので、その辺との絡みをどうするのか。ただそこに力を入れると固いものになってダメだとなれば、前段の仲間作りから順次ステップを踏んで行くという意味で仲間作りから進めるのもいいと思います。

委 員； 都岐沙羅パートナーズセンターでは、そういう計画作りもできるのですか。

- 会 長； 計画してくれと言えぱすると思います。
- 委 員； 荒川商工会青年部の婚活事業が成功していると聞きましたが、その内容は婚活だったのか、あるいは仲間作りだったのか把握していますか。3組がゴールインし2組が交際中だと聞き及んでおり、近くにそういう成功例があるものですからお聞きしました。
- 事 務 局； 荒川地区の事業につきましては、参加募集の年齢は20歳から45歳までということで募集し、今年9月に同じような内容で2回目を行うということですが、内容は坂町駅前に居酒屋など数件あるので、それぞれのお店を会場に会費制で合コンと言いますか、同じ目的で来ている方と交流するものだと思います。
- 委 員； わかりました。
- 事 務 局； 神林商工会青年部の事業も紹介しますと、参加する男性に対しおしゃれなど身だしなみと体を鍛える講習を事前に行い、その後女性を交えて交流会をする内容になっているようです。ほかに村上市の補助金を利用したもので、瀬波温泉汐美荘で行ったものは、男性19人、女性19人が参加したそうですが、こちらは20代から40代で参加者を募集し5組が成立したと市のホームページに掲載されています。こちらはお笑い芸人にイベント司会を依頼し会を盛り上げたようです。
- 委 員； 費用はいくらですか。
- 事 務 局； 全体の費用は聞いておりません。市の補助金10万円と参加費で賄ったものと思います。市の補助金の使い道ですが、聞いたところではチラシなど募集に係る部分で相当額使われるとのことでした。
- 委 員； 事務局にお聞きしますが、先般このチラシが新聞折り込みで入っていましたが、これとは違いますか。
- 事 務 局； そちらのものはウェルネスむらかみで企画したものになります。
- 委 員； 今20人くらい集まったようです。
- 会 長； 私もいろいろ交流イベントを行ってきましたが、婚活だから人が来るとか来ないという問題ではないと思います。実際、来たい人は来るし来たくない人は来ないのが現実でした。その時は婚活というものは出さず交流という形をとりましたが、男性50人、女性50人で募集し、男性はすぐに定員になりました。女性はなかなか集まりませんでした。あまり婚活にこだわらず、婚活で来る人も仲間作りで来る人も友だちと来る人もいるでしょうし、こだわると実行委員の方も容易ではないと思います。まずはやることに意義があると思いますし、何回もやって機会を作ることが必要だと思います。
- 会 長； それではまとめたと思います。まず実行委員会形式でみなさんよろしいですか。
- 一 同； 異議なし。
- 会 長； 実行委員会形式にすることにします。実行委員会の構成ですが、先ほど私が挙げた3団体とこの地域審議会のメンバーでよろしいですか。事務局にお任せしますか。
- 会 長； みなさんから意見がないようですので、私どもと事務局に一任いただいてよ

ろしいですか。

一 同； 異議なし。

会 長； 対象者の年齢などについてはいかがですか。

委 員； それぞれの好みになり、年配の方が好きな人もいますので、それほどこだわる必要はないと思います。

会 長； 私も特にこだわる必要はないので、当初の案のとおりで構いませんし、実行委員会に一任でよろしいですか。

委 員； 異議なし。

会 長； 男女の居住地の関係についてはいかがですか。男性は地区内で女性はどこでもいいなどいかがですが。

委 員； 年齢も含め対象者をどうするかでイベント内容が変わってくるということなので実行委員会で決定したほうがいいと思います。

会 長； すべて実行委員会に任せて申し訳ないが、実行委員会で決めてもらうということでもよろしいですか。

委 員； 異議なし。

会 長； そのほか参加人数などもイベント内容にかかわってきますので実行委員会の決定事項でよろしいですか。

委 員； 異議なし。

会 長； 実施は27年度ですし、当初の考えではイベントを4回行うとしていましたが、例えば大きいイベントを2回行うことにするなど、これらも実行委員会で検討していただくということでもよろしいですか。

事 務 局； 27年度予算の執行は4月ですので、それから実行委員会を立ち上げ2か月くらいで企画して、そして参加者募集をすると1回目が8月に間に合うかどうかになると思いますので、9月と冬の2回の実施になるのではないかと思われま
す。事業は28年度まで実施できますので、実行委員には2年間の任期をお願いし、27年度にじっくり計画をし、28年度に4回するのか3回になるかは別として、そういう方法もあります。ただし2年間では間延びしますし、単年度で実行できる回数を行ったほうがいいとも思います。

会 長； 11月に予算要求となるので実行委員会の準備委員会的なものを早めに立ち上げ、そこで検討し事業計画の概略により予算要求するのがいいと思いますがいかがですか。

委 員； 実行委員会を今年度中に立ち上げたほうがいいと思います。

事 務 局； 予算措置がなされていない段階で実行委員会の設置はいかなものかと思
います。

会 長； 準備段階ではボランティア的な考えで携わってもらえないわけですか。

事 務 局； 正式に委嘱ができないと思います。

会 長； ボランティアで計画を立ててくださいとはいにくいです。

委 員； 今年度予算をつけられないのか。やはり今年度中に実行委員会を立ち上げ、ある程度計画を練って来年度事業を実施することが一番スムーズです。半年遅ければ、あっという間に1年が過ぎてしまいます。

- 委員； 季節ごとに事業をやるのか年に2回やるのかでも違うと思います。
- 委員； 実行委員会で事業計画を立てないと予算要求できないのではないかと。
- 委員； 先ほどから話に出ている愛ランドあさひ側から話をさせていただきます。昨年からここまで形ができているのであればボランティアでも構わないと考えています。ほかのスポーツクラブでも婚活事業に乗り出していますし、私どもも考えていかなければならないと思っていました。今回、都岐沙羅パートナーズセンター、高根フロンティアクラブ、行政といっしょにするととなると当クラブも一歩前進できると思いますので、ぜひやらせていただきたいと思います。ほかに商工会やJAなど事業所の方が必要になってくると思います。また消防団など手伝っていただけたところはどんどん巻き込んだほうが良いと思います。
- 委員； 話が戻るかもしれませんが、参加者集めには事業所などへ行政から声掛けが必要だと思います。またアンケートにある親や親戚から参加者を集めるのはいいアイデアだと思います。
- 委員； この事業の趣旨は朝日地区の人口を増やすことを目的としているものと理解していました。結婚して子どもを産んで人口を増やす。「少子化の背景にあるもの」という内容の新聞記事によりますと、結婚したい人たちはいっぱいいる。出会いの場がないのでその場を設けてほしいという意見がたくさんあったようです。新潟県でも2008年から新潟出会いサポート事業として専門のアドバイザーを雇って企画内容に工夫を凝らした官製合コンをやった。県の児童家庭課によると08年度から12年度に113回開かれて668組のカップルが誕生した。ただ結婚して出産に至ったのは把握している範囲では数件と効果は未知数だということでした。県の少子化対策モデル事業検討委員会の委員を務めている東レ経営研究所研究部長の方の意見では、婚活イベントというのは端的実務に過ぎないという評価でした。イベントをやって何組かのカップルができると思いますが、こういうゆったりとした計画ではなく本当に結婚をしたい人たちを対象に募集して、本当に真面目なお見合いのほうが手っ取り早いと思います。私の知り合いの中にもいますが、結婚願望はあるが相手がない、どうにか結婚して子どもを産んでもらいたいと思っている人にとっては切羽詰まった問題だと思います。
- 会長； 確かに委員が言われたとおりそういう切実な思いの人たちがいるのも現実ですし、逆に先ほどから言われているとおり若者たちが出会う場所がないというのも現実にあります。それをこの地域審議会ですらに持っていくのか論議しているので、それらの意見も実行委員会のみなさんに伝えながらやっていきたいと考えています。確かにイベントは一過性のものなので、イベントをやるのであれば毎年やらなければならないと思います。我々も栗島汽船のふれあいパーティーを10年ほど行いましたが、1年に1回やってもしょうがないので、今回50万円をかけて実施してみて、これが成功したとなれば行政ではなく民間でやれば良いと思います。そして、実行委員会で議論してもらいたいと思います。
- 事務局； この1、2年のスパンで見れば、委員が言われたとおり切実な人がいますし、今の若者がこれから10年後そういう人になり得ることも考えられますので、若

者の交流の場を作ることも必要だと思えます。朝日地区の良さをわかってもらい定住する気持ちがおこり、それが結婚につながれば定住人口の増加につながるものと思えます。今までそういうものがなかったのが若者の流出につながった部分もありますので、そこを食い止めなければ人口減少に歯止めがかからないと考えております。

会 長； ほかにご意見等ありませんか。

委 員； J Aも準備会の一員にこの話がありましたので、28日に理事会に報告し、地域の活性化に協力したいと思います。

会 長； それでは早急に準備会として、今話に上がった団体から人選をいただき、ある程度の計画を立てるための打合せをお願いしたいと思います。

4 その他

会 長； 事務局から「その他」について何かありますでしょうか。

事 務 局； 次回の日程について、前回の審議会において11月中とさせていただきますが、3か月ほど期間がありますので会長と日程を調整しまして11月半ばに開催したいと思います。時間や曜日など不都合なところがあれば委員のみなさまにご意見をいただきたいと思えます。

委 員； できれば3時過ぎからお願いしたいと思います。

会 長； ほかの委員のみなさんはいかがですか。特にないようですので次回は3時30分から開催したいと思います。

会 長； ほかにみなさんからありませんか。ないようですのでこれで閉会とさせていただきます。

副 会 長； 委員のみなさまにはお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。今日は朝日地区の活性化に向けさまざまご意見を頂戴しました。次の審議会ではそれらを具体的にしながら目に見えたものをまとめていきたいと思えますのでこれからもよろしく願います。今日はご苦労様でした。

5 閉会 (14:47)